

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 28 (当初計画: No. 24)

東北森林管理局

取組名	間伐における低コスト化の推進と需要者ニーズを踏まえた採材の現地検討会(継続)
流域名	北上川中流流域(岩手南部)
分類番号	ア-11、イ-15、カ-23
実施箇所及び実施日	岩手県奥州市水沢区 水沢地区センター 平成25年10月16日(水)
取組の背景及び必要性	間伐の効率的な作業システムについて再度検討し、低コスト化を推進する。また、生産請負事業量が増大している現在、とすれば画一的およびオペレーター個人の力量に委ねられる採材について、「商品としての素材」との意識付けをしてもらうため、製材工場において需要者のニーズを認識し、生産請負現場において採材について検討する。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成19年度から継続し岩手県や流域活性化センターと連携し、間伐推進、木材需給、低コスト等に係る現地検討会等を開催している。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 局担当官から「効率的な作業システム」「国有林材の採材について」の説明をし、当署及び遠野支署からも生産請負事業及び採材についての注意点を説明。また、需要者側から奥州市の製材工場の担当者から需要動向と製材に適さない素材(欠点)について、具体的に写真等により説明してもらい現場で採材する際の注意点を認識した。(台風最接近のため現地検討は中止)</p>
国有林担当部局・役割	森林管理局資源活用課、岩手南部森林管理署、遠野支署 (企画、実行、協力)
連携協働相手先・役割	岩手県、流域活性化センター、林業事業体 (協力、情報提供)
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者約40名 川下の需要動向や川上の課題等について認識できたが、今後その需要や課題に具体的にどう対応していくか検討が必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: 署HPにて公開 効果: 間伐の低コスト化、需要者ニーズの把握

【参考資料】

取組名

間伐における低コスト化の推進と需要者ニーズを踏まえた採材の現地
検討会



岩手南部森林管理署長から開催の挨拶



局担当官からの説明



検討の様子



森林管理署等からの説明



製材工場担当者の説明



遠野支署長から閉会の講評

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 29 (当初計画: No. 25)

東北森林管理局

取組名	平泉古事の森育成事業 (継続)
流域名	北上川中流流域 (岩手南部)
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	岩手県平泉町ほか各小学校 平成25年9月24, 25日 (事前学習) 岩手南部森林管理署月山国有林 平成25年10月1日 (火)
取組の背景及び必要性	「平泉の文化遺産」を支える歴史的木造建造物の修復用資材を長期にわたり供給しようと平成21年に協定を締結した「木の文化を支える森づくり」の箇所等において、次代を担う地元小学生に対し森林環境教育等を実施。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成21年の協定締結から植樹、保育作業、森林環境教育等の取組を実施している。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 次代を担う地元小学校の児童を対象に事前学習と「木の文化を支える森づくり」の協定締結箇所において、約100名の児童による地ごしらえと森林教室を行い、ふるさとの森林を支えるという意識の醸成を図った。</p>
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署 (企画、実行、協力)
連携協働相手先・役割	平泉町、平泉古事の森育成協議会 (企画、広報、協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者約140名 限られた協定締結箇所内において、今後も協定相手方と連携しながら、安全に継続的に活動できるメニューの構築が必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: プレスリリース、署HP 効果: 木の文化を支える森づくり活動の普及

【参考資料】

取組名 平泉古事の森育成事業(継続)



事前学習



町長、マスコミ関係者等による切り初め式



地ごしらえ用の丸太の輪切り



輪切りを置いて地ごしらえ



森林教室1



森林教室2

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 30 (当初計画 : No. 26)

東北森林管理局

取組名	遊々の森における体験活動を活用した未利用牧草地の再生森づくり (継続)
流域名	北上川中流流域 (岩手南部)
分類番号	カ-32
実施箇所及び実施日	岩手南部森林管理署長橋国有林 平成25年10月20日 (日)
取組の背景及び必要性	地域の牧野組合が管理していた国有林野内牧草地において、国へ返還するにあたり、多くの人に参加を呼びかけ近隣の森林から種を採取しポットで育てたミズナラ等を植樹する。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 平成21年の協定締結から種子採取、植樹等の取組を実施しており年々参加者は増加している。</p> <p>【平成25年度の取組内容】 遊々の森「星めぐりの森」の協定締結箇所内の牧草地において、かつての豊かな森に蘇らせるため、春に多くの人に参加を呼びかけ近くの森から種を採取しポットで育てたミズナラ等をボランティアおよびトヨタアクアフェスの参加により植樹した後、来年度以降のためのドングリ拾いとポット苗づくりを実施した。</p>
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署 (協力)
連携協働相手先・役割	貝沢牧野組合、カタクリの会 (企画、広報、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者約150名 限られた協定締結箇所内において、今後も協定相手方と連携しながら、安全に継続的に活動できるメニューの構築が必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR : プレスリリース、署HP 効果 : 森林への再生活動に対する貢献

【参考資料】

取組名

遊々の森における体験活動を活用した未利用牧草地の再生森づくり



開会



広葉樹の植樹



参加者記念写真撮影



ドングリ拾い



集めた種子



種子をポットへ

平成25年度 流域管理の取組結果表

No. 31 (当初計画: No. 28)

東北森林管理局

取組名	市民団体による記念植樹祭への支援(新規)
流域名	北上川中流流域(岩手南部)
分類番号	カ-32
実施箇所及び実施日	岩手南部森林管理署祭時国有林 平成25年6月16日(日)
取組の背景及び必要性	市民団体の要望により、平成20年に発生した「岩手・宮城内陸地震」で落橋した祭時大橋付近の国有林内において、広葉樹を植樹。当署としてフィールドの提供と技術指導等を行った。
取組の内容	<p>【平成25年度の取組内容】</p> <p>岩手県内及び当地域において、みどり豊かな森林「いわての山河」の再生を求めて、多様な活動をしている市民団体が、創立20周年記念の行事の一環として「岩手・宮城内陸地震」の復旧工事の際に使用された国有林内に、当署職員の指導を受け広葉樹100本を植樹した。その後、地震時の状況の説明を聞いた後、災害遺構整備計画により整備された施設を見学した。</p>
国有林担当部局・役割	岩手南部森林管理署 (協力)
連携協働相手先・役割	みどりを守り育てる岩手県民会議 (企画、広報、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	参加者約130名 今後もニーズに積極的に対応し、森林づくりと国土保全等を組み合わせた活動など実施内容の充実に努める必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR:プレスリリース、署HP、TV放映(参加者投稿) 効果:国有林野を利用した記念植樹等の実施者の掘り起こし

【参考資料】

取組名 市民団体による記念植樹祭への支援(新規)



開会



職員による植樹指導



植樹1



植樹2



災害遺構整備施設の見学1



災害遺構整備施設の見学2